

# 会議結果報告書

令和4年7月26日

会議の名称	令和4年度 第1回志木市地域医療連絡協議会
開催日時	令和4年7月7日（木）午後1時30分～2時25分
開催場所	志木市民会館 203室
出席委員	岩崎智彦委員、鎌田昌和委員、加藤広久委員、相原大和委員、外村光康委員、宮本日出委員、西野博喜委員、椎木雅和委員、鳥飼香津子委員、高澤淳仁委員、根岸麻紀委員、瀧仁孝委員、河村龍二委員、宮利昌委員、大熊克之委員、中村修委員、島村直人委員、的場裕行委員、佐々木大司委員、渋谷幹彦委員、飯田恵子委員、平田大輔委員、寺嶋勝浩委員、大野広幸委員、菊池宏子委員、清水裕子委員 (計26人)
欠席委員	蓼沼寛委員 (計1人)
説明員氏名	的場裕行（福祉部参事兼共生社会推進課長）、渋谷幹彦（長寿応援課長）、飯田恵子（子ども支援課長）、平田大輔（保育課長）、清水裕子（子ども・健康部参事兼健康政策課長）、大野広幸（健康増進センター所長）、菊池宏子（児童発達相談センター所長）、寺嶋勝浩（子ども・健康部参事兼保険年金課長）、島村直人（教育政策部次長兼学校教育課長）、宮利昌（埼玉県南西部消防局志木消防署副署長） (計10人)
議題	(1) 令和3年度事業報告及び令和4年度新規事業について (2) その他
結果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	安形喜代美、河原亜佑美、松前瑞紀（健康政策課）

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 役員選出

会長・・・鎌田昌和 様

副会長・・・宮本日出 様、大熊克之子ども・健康部長

幹事・・・加藤広久 様、椎木雅和 様

清水裕子子ども・健康部参事兼健康政策課長

3 会長挨拶

4 議 題

(1) 令和3年度事業報告及び令和4年度新規事業について

◆各所属の事業内容等について各担当委員より報告した。

〔共生社会推進課〕 基幹福祉相談センター事業

〔長寿応援課〕 高齢者基礎統計データ、在宅医療介護連携推進事業、朝霞地区入退院支援ルール、認知症初期集中支援チーム事業、フレイル予防プロジェクト

〔子ども支援課〕 要保護児童対策地域協議会活動状況

〔保育課〕 保育園児健康診断事業

〔健康政策課〕 いろは健康ポイント事業、おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト事業、地域の「しょく（食・職）場づくり」担い手育成による食育の推進、志木っ子元気！子どもの健康づくりプロジェクト、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、被保護者健康管理支援事業、働く世代の健康づくり事業、各種がん健診事業、子宮頸がん検診未受診者対策事業、国民健康保険保健事業、各種健康づくりに関する計画策定に向けての準備

〔健康増進センター〕 定期予防接種事業、母子保健事業、健康増進事業、歯科保健事業、こころの健康づくり事業、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業、産婦健康診査助成事業

〔児童発達相談センター〕 各種支援・相談事業

〔保険年金課〕 国保における医療費の推移、後発医薬品の使用促進対策、後発医薬品数量シェア

〔学校教育課〕 市立小中学校健康診断実施結果

〔志木消防署〕 事故種別、年齢区分別及び傷病程度別の搬送人員

◆質疑応答及び意見

Q 1. 長寿応援課事業の朝霞地区入退院支援ルールについて

A 1. 朝霞地区入退院支援ルールは、朝霞地区医師会地域包括ケア支援室、朝霞地区4市の医療職・介護職で作成会議を行い、1年かけて令和2年度に作成した。普及啓発として手引きを関係機関や一般診療期間、高齢者介護施設に配布したほかPR動画を作成し、また、利用状況等調査のためのアンケートも実施した。今年度も普及啓発に取り組んでいく。

意見（提案）

骨折で急性期病院に入院する高齢者は骨粗鬆症が潜在していることが多い。骨粗鬆症の治療は一般的に骨代謝を下げ骨をもろくさせない薬を使用するが、この薬は骨折治療の際には一旦使用を停止する。入退院を繰り返すケースも見られるので、急性期病院退院後には後方病院で骨粗鬆症の治療を再開できるよう、地域での申し送りのルール、簡単に申し送りができるフォーマットがあると良い。骨粗鬆症リエゾンサービスを地域的に実施しているところもあるので参考になるのではないか。

Q. サービスのコーディネーターは資格制なのか。

A. 法的な資格ではなく、地域で認定されているものである。

Q. 病院間（急性期・かかりつけ）の連携や情報共有については、連携の担当者がいると良いか。

A. ケアマネージャーが行っているところもあるが、共通の簡単に申し送りできるようなフォーマットだけでもあると良い。

⇒大変重要な提案であり、高齢者の骨折予防を含め良い方法があればと考えるので、次回の会議で詰めていきたい。市には、他市町村の取組状況を調査して欲しい。

(2) その他

次回の会議は、下記内容を検討することとする。

①高齢者の骨折予防に向けての仕組みづくり

②健康づくりに関するアンケート調査の報告と次期健康づくり等計画策定に向けての意見交換

